

# 結城農業かわら版



第128号 R2年12月20日発行

TEL 0296-48-0184 FAX 0296-48-2682

HPへアクセス↑



## 結城市農村青少年クラブ活動紹介 —農業祭&ハクサイ収穫—

11月14日、結城市農村青少年クラブは毎年恒例の農業祭および農産物共進会を開催しました。本年度で第51回目となる農業祭は、クラブ主催のイベントであり、クラブ員は1ヶ月以上前から準備にあたりました。

共進会には、結城市内の農業者により59品の農産物が出品され、前日にクラブ員の他に市・JA・普及センター職員が審査員となり専門家・消費者の立場から審査を行いました。

当日は、審査により各部門で1位となった農業者に対し、クラブ会長、市長、普及センター長等から各賞の授与が行われました。そのほか、会場では共進会出品農産物の展示・即売会も行われました。

また、11月25日、冬期プロジェクト活動の一環としてハクサイの収穫作業を行いました。

冬期プロジェクトでは、ハクサイの重要病害である根こぶ病の被害軽減を目的として、「おとり作物」として緑肥用大根の作付けと根こぶ病抵抗性品種の導入を行いました。収穫前の調査では、被害株は確認されず、対策試験の結果は良好でした。

当日は朝からクラブ員全員で協力して作業にあたり、一日で1,200箱以上を出荷することができました。

結城地域における農業振興や農業生産の課題解決に貢献できるように、普及センターでは今後もクラブの活動を支援していきます。



# 第4回結城地域アグリ講座「先進農家研修」を開催しました！

11月20日（金）、結城普及センター主催の第4回結城地域アグリ講座(第2回県西広域講座)を開催しました。今回は9名の生産者が参加し、近年農業生産現場で課題となっているほ場の湿害対策について学びました。

講座では、湿害対策の基礎知識についての座学に加えて、湿害対策を実施している、結城市の高野澤青年農業者のほ場を見学しました。見学では、暗きょの設置やほ場の傾斜による湿害対策について説明を受けました。見学中は参加者から積極的に質問が飛び交いとても充実した講座となりました。

今後も普及センターでは、生産技術や経営感覚向上につながる講座を開催していきます。



## 園芸用施設の雪害対策をお願いします！！

園芸用施設(パイプハウスや使用年数の長い鉄骨ハウス等)を点検し、雪害対策を行いましょう。

### 【降雪前に確認】

- 筋交い・支柱のぐらつきや被覆資材のたるみ・破損などありませんか？  
(大雪が予想される場合は応急補強用の支柱・筋交いを取り付けましょう)
- 暖房機の残油量は十分ですか？正常に動いていますか？

### 【雪が降ってしまったら…】

**注) まずは安全を確保してから、複数人で作業を行ってください！！**  
**施設倒壊の危険があるので、できるだけ内部侵入は控えましょう**

- 屋根に積もった雪は、速やかに除雪しましょう。
- 暖房機等がある場合は内部被覆(二重カーテン)を開放した上で、可能な範囲で施設内の温度を高め、屋根雪の滑落を促進してください。



詳しくは茨城県農業総合センターHP『技術対策』ページをご参照ください。

## やさいメモ

### ～野菜のちょっとした豆知識・カボチャ編～

カボチャは南北アメリカ大陸原産のウリ科植物です。西洋種、日本種、ペポ種の3種に分けられます。西洋種は栗カボチャと呼ばれ、甘味が強くホクホクとしています。日本種はねっとりした食感が特徴的で、坊ちゃんかぼちゃが属します。ペポカボチャはおもちゃカボチャと呼ばれ、色や形が多岐にわたります。実はズッキーニもこのペポカボチャの仲間です。

冬至にカボチャを食べるのは、比較的傷みにくく長期保存が可能のため冬場の貴重なビタミン源であったからです。また「南瓜：なんきん」と語尾に「ん」がつくため「運」を呼び込むという、縁起担ぎの意味もありました。



## 編集後記



あっという間に12月になり、今年もあと少しとなりました。この1年は、新型コロナウイルスの影響で様々な恒例行事が中止になり、生活にメリハリがないまま終わってしまったという感じがします。

以前から頑張っているダイエットですが、一時的に2kgの減量に成功したものの、気が緩んだのか先日の測定では元の体重に戻っていました…。来年も気を引き締めて励んでいきたいと思えます。(小沼)

～農作物・農業機械の盗難に注意しましょう～

